

北のみち普請10周年記念 寄合(フォーラム)開催

日時：平成22年7月24日(土) 13:30～17:00

場所：KKRホテル札幌

北海道で人々の共通の場所であるみちを、みんなでつくり、育み、維持していこうと平成13年に発足した、市民参加型の会「北のみち普請を育てる会」が、10周年を迎えました。それを記念して平成22年7月24日(土)に札幌市中央区のKKRホテル札幌でフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、小林英嗣会長の挨拶に続き、有限会社コテージガーデン代表取締役 梅木あゆみ氏とNPO法人えにわ市民プラザ・アイル 理事 久保純一氏による記念講演が行われました。

梅木あゆみ氏は「花と緑で、まちを豊かに」の演題で、たくさんの植栽事例をスライドで紹介し、花と緑は、まちを豊かにすると同時に人の心も豊かにする、と花や緑のあるまちの豊かさを強調されていました。

また、久保純一氏は「通学合宿で地域が子供と繋がった」の演題で、恵庭市が取り組んでいる通学合宿とし



北のみち普請を育てる会会長挨拶

て、子供が家庭を離れて1週間、公共施設で集団生活をしながら、いつも通り学校へ通い、自立心・協調性・我慢する力・感謝の心を養おうとの目的で、地域が一体となって子供教育について考え・行動する事例を紹介していただきました。



梅木あゆみ氏の記念講演



久保純一氏の記念講演

引き続き、みち普請活動表彰団体（12団体）のうち5団体による活動報告が行われました。

【釧路市千歳生活学校】は「年齢的に大変無理がかかってくるようになり、活動を中止しようと考えた時期もありましたが、学校や各町内会へお願いし、快く協力してくださった結果、今日まで続いているのだと思います」と発表。【VSPドルフィン(室蘭経営研究会)】からは「日高自動車道、鷓川インターチェンジでの植樹事業を、地元鷓川町の小学生と一緒に手掛けており、子供達の心に楽しい思い出がいっぱいになることを目指して活動をしています」、【フラワーマスター鹿追地区連絡協議会】からは「私たちは特別な活動をしているわけではなく、日頃花を植えて地域を明るくしたい、地域に少しでも希望を持てる明るいところを作りたいと、活動を続けています」と発表がありました。

続いて今年5月に第21回全国「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した札幌市の【芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会】と、函館市の【函館花いっぱい道づくりの会】が報告。

【芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会】からは「自分達の足元は自分達できれいに、できる時にできることをモットーに活動してきました。10年間続けられた要因として、札幌市や開発局から花苗の提供があったことが大きく、ボランティアの熱い思い、行動を持続できたのではないのでしょうか」、また、【函館花いっぱい道づくりの会】からは「無理しないことを貫くこと、これが長続きのポイントであり、また、個性豊かな人が集まり、胸の中にあることを本音で何でも言うこと、そういう場を何度も作っていることが、こ



活動団体の発表（フラワーマスター鹿追地区連絡協議会）

の活動の原動力になっています」と発表されました。活動報告の後12団体の表彰式が行われ、小林会長より表彰状の授与がありました。最後に全体の講評を小林会長が述べ、10周年を記念して「北のみち普請10周年記念宣言」が読み上げられ、フォーラムは幕を閉じました。

北のみち普請10周年記念宣言

- 1つ おもてなしのところで、美しい北のみちを守り、大きく育てていこう。
- 2つ 子ども お年寄りも、みんなで参加する地域づくりを目指そう。
- 3つ みんなに誇れる美しいまち、親切なまち、安全なまちをつくろう。
- 4つ 交流や連携の輪を広げ、活動を繋げる環、支え合う和を築きあげよう。
- 5つ みち普請のこころを、次世代を担う子どもたちへ継承しよう。

2010年7月24日
北のみち普請を育てる会

12団体の表彰式の様子



- 「アイラブ・ロードあかびら推進協会」
 - 「枝幸町歌登東町内会」
 - 「えんがる町観光協会丸瀬布支部」
 - 「釧路市千歳生活学校」
 - 「芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会」
 - 「函館花いっぱい道づくりの会」
 - 「フラワーマスター鹿追地区連絡協議会」
 - 「VSPドルフィン(室蘭経営研究会)」
 - 「南建設株式会社」
 - 「元川町内会」
 - 「留萌市フラワーマスター連絡協議会」
 - 「若旺会」
- (五十音順)